

## 生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2020 (JB03) 目次案

大項目	中項目	小項目	備考
序章	第1節 生物多様性及び生態系サービスの評価が求められる背景		
	第2節 生物多様性及び生態系サービスの総合評価の実施	1. 評価の目的	
		2. 評価の対象	
		3. 評価の枠組み	
		4. 評価の体制	
第3節 生態系サービスと「自然がもたらすもの (NCP) 」			
第I章 わが国の自然環境と生態系			
第II章 わが国の社会経済状況 (間接要因)	価値観と行動 (社会文化・社会心理)	社会文化・社会心理	世論調査等に基づき、自然に対する関心や地域に対する関心について記載
		自然的要因による価値観と行動の変化	自然災害等により生じる国民の価値観や行動の変化について記載
		ライフスタイルの変化	価値観の変化により生じるライフスタイルの変化として、住生活・食生活・労働・余暇活動等について記載
	人口	人口動態	総人口や年齢構成、その他人口増減に影響を与える事項について記載
		人口移動	定住人口、交流人口、関係人口の3つの観点から記載
	経済	経済状況	GDP 成長率のほか、個人・地域間での経済格差等についても記載
		資本	第2回検討会における指摘に基づき、人工資本及び人的資本について記載
		産業	産業構造及び生産と消費について、伝統産業も含めて記載

大項目	中項目	小項目	備考
第Ⅱ章 わが国の社会経済状況（間接要因）	経済	技術・エネルギー	第2回検討会における指摘に基づき、経済の項へ移動。技術の導入・投資の状況や、エネルギーミックス等について記載
		グローバリゼーション	貨物等のグローバルな移動について記載
		資金フロー	環境開発・保全に関する資金フローについて記述
	制度と ガバナンス	個人～組織	個人や企業レベルでの制度・ガバナンスについて記載
		地域コミュニティ	自治体レベルでの制度・ガバナンスについて記載
		国家	国家レベルでの制度・ガバナンスについて記載
第Ⅲ章生物多様性の損失の要因の評価	第1の危機	生態系の開発・改変	
		絶滅危惧種の減少要因	
		<del>保護地域（※）</del>	対策として第Ⅵ章に移動
		<del>捕獲・採取規制、保護増殖事業（※）</del>	
	第2の危機	里地里山の管理・利用の縮小	
		野生動物の直接的利用の減少	
		<del>野生鳥獣の科学的な保護管理（※）</del>	対策として第Ⅵ章に移動
		絶滅危惧種の減少要因（第2の危機）	
	第3の危機	外来種の侵入と定着	
		水域の富栄養化	第2回検討会指摘を踏まえ、第1の危機から移動
		化学物質による生物への影響	
		<del>外来種の輸入規制、防除（※）</del>	対策として第Ⅵ章に移動
	第4の危機	絶滅危惧種の減少要因（第3の危機）	
		地球環境の変化の状態	JB02において第Ⅰ章に記載されていた地球温暖化等の状況について、本項へ移動
		地球温暖化による生物への影響	
			絶滅危惧種の減少要因（第4の危機）

大項目	中項目	小項目	備考
第IV章生物多様性の状態の評価	森林	森林生態系の規模・質	
		森林生態系の連続性	
		森林生態系に生息・生育する種の個体数・分布	
		人工林の利用と管理	
	農地	農地生態系の規模・質	
		農地生態系に生息・生息する種の個体数・分布	
		農作物・家畜の多様性	
	都市	都市緑地の規模	
		都市生態系に生息・生育する種の個体数・分布	
	陸水	陸水生態系の規模・質	
		河川・湖沼の連続性	
		陸水生態系に生息・生育する種の個体数・分布	
	沿岸・海洋	沿岸生態系の規模・質	
		浅海域を利用する種の個体数・分布	
		有用魚種の資源の状況	
	島嶼	島嶼の固有種の個体数・分布	
生態系の連続性	各生態系における連続性		
	他の生態系との連続性		
第V章人間の福利と生態系サービスの変化	豊かな暮らしの基盤	食料や資源の供給	
		物理的サービスの変化要因	
		過少利用・海外依存による影響	
		潜在的な国内資源の活用	
	自然との触れあいと健康	大気や水質と調整サービス	
		生態系の改変による健康へのリスク	
		生物多様性や生態系による健康への貢献	
	暮らしの安全・安心	生態系による災害の緩和	
		変化しつつある生態系サービスと気象	

		地域の特性に応じた安心・安全な地域づくり	
--	--	----------------------	--

大項目	中項目	小項目	備考
第V章 人間の福利と生態系サービスの 変化	自然とともにある暮らしと文化	多様な自然がもたらす文化的サービス	
		失われつつある自然とのつながり	
		自然とともにある暮らしと文化の再構築	
	生態系によるディスプレイサービス	既存の構成ではディスプレイサービスを扱う適切な項が存在しなかったため、ディスプレイサービスを包括的に扱う項を追加	
第VI章 生物多様性の損失への対策	第一の危機から 第四の危機への 対応	第一の危機への対策	
		第二の危機への対策	
		第三の危機への対策	
		第四の危機への対策	
	生態系ごとの対応	森林生態系への対策	
		農地生態系への対策	
		都市生態系への対策	
		陸水生態系への対策	
		沿岸・海洋生態系への対策	
	社会変革に向けた取組	島嶼生態系への対策	
		「横断的対策」の名称は内容が不明瞭であること、直接要因への横断的な対策と間接要因への対策は切り分けが難しいことから、名称を「社会変革に向けた取組」に変更	
	対策の基盤	生物多様性の認知度	自然や生物多様性に関する認識は間接要因の一つとして考えられるため、第II章に記載
		自然に対する関心度	
生物多様性保全のための取組に対する意識			
第VII章	わが国の生物多様性関連施策の成果		

大項目	中項目	小項目	備考
第Ⅷ章 今後の 生物多様性及び 生態系サービス のトレンド	気候変動による生態系の変化		気候変動により生じる生物多様性・生態系サービスの変化について記載
	国民の生活の変化		PANCES による研究成果を中心に、人口減少・集中、及びそれに伴う資源利用や土地利用・管理の変化による生物多様性・生態系サービスについて記載
第Ⅸ章 総括と今後の課題			